

『節分』

鬼は一外、福は一内！今年は赤鬼がやってきました！皆さんが投げた豆に赤鬼はたじたじ！今年もしっかりと厄を払えましたね。

節分（せつぶん、または、せちぶん）は、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のこと。節分とは「季節を分ける」ことをも意味している。江戸時代以降は特に立春（毎年2月4日ごろ）の前日を指す場合が多い。節分の日付は現在は毎年2月3日であるが、これは1985年から2024年頃までに限ったことであり、常にそうではない。1984年までは、4年に1度の閏年に2月4日だった。2025年から（2021年からになる可能性あり）は閏年の翌年に2月2日になる。豆を撒き、撒かれた豆を自分の年齢（数え年）の数だけ食べる。また、自分の年の数の1つ多く食べると、体が丈夫になり、風邪をひかないというならわしがあるところもある。豆は「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがある。寺社が邪気払いに行った豆打ちの儀式を起源とした行事であり、室町時代の書物における記載が最も古い記載であることから少なくとも日本では室町時代以降の風習であると考えられる。初期においては、豆は後ろの方にまくことが始まりだった。豆を撒く際には掛け声をかける。掛け声は通常「鬼は外、福は内」であるが、地域や神社によって様々である。鬼を祭神または神の使いとしている神社、また方避の寺社では「鬼は外」ではなく「鬼も内（鬼は内）」としている。父親などがお面をかぶって鬼の役を演じて豆撒きを盛り上げる。しかし、元来は家長たる父親あるいは年男が豆を撒き鬼を追い払うものであった。



わかば新聞

45号
2011年3月



鍋パーティー



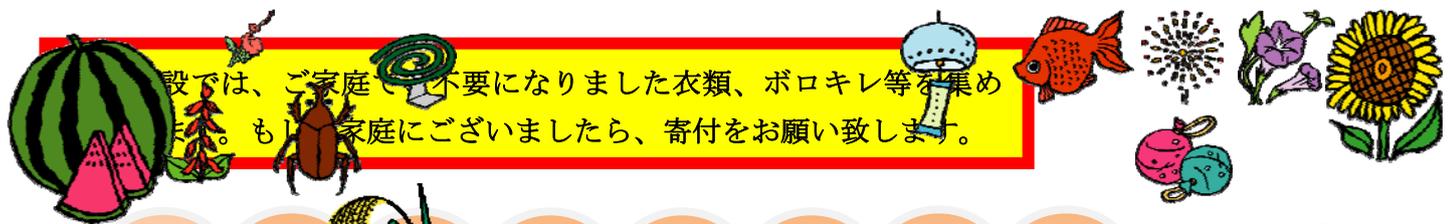
ぐつぐつぐつ、ぐらぐらぐら～
今回は鍋パーティーがありました。今年の寒かった冬もあと少し。最後の寒さを吹き飛ばすにはもってこいの鍋でした！食事が始まると皆さん黙々と鍋に舌鼓。お替りの方も続出し多い方では3杯も食べられていました！また鍋を囲みましょう。もうすぐ春ですねえー。

ぐつぐつぐつ、ぐらぐらぐら～

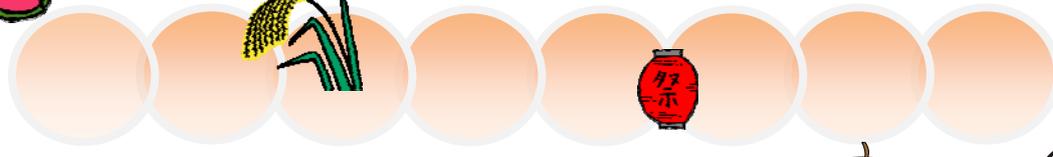
3月の予定

- 2日（水） 雛祭り喫茶
- 9日（水） 2階床掃除
- 13日（日） 散髪
- 23日（水） 寿司バイキング
- 28日（月） 運営推進会議





設下は、ご家庭で不要になりました衣類、ボロキレ等を集め
ました。もしご家庭にございましたら、寄付をお願い致します。



～来月号では新入職員紹介を予定しており



臨時号



節分

